

実は一番怖い!? 働けないリスク

ファイナンシャルプランナー
堤 太郎



ご自身やご家族が長期にわたり働けない。そんな状況を考えてことはありますか?実はこの“働けないリスク”は非常に怖いとされています。当然ですが、働けなければ収入が得られません。生活に必要なお金は掛かるのに、収入がない。そんな状態が長引く事を想像すると家計に及ぼすリスクの大きさがわかると思います。では具体的に“働けないリスク”について考えてみましょう。働けなくなる原因として、病気やけがによる長期の休業が挙げられます。長期にわたり休業すれば収入は減少、自営業者であれば途絶えてしまう可能性もあります。その様な事態になっても、毎月の生活費や教育費、住宅ローンの支払額は変わりません。加えて病気やけがの治療費はプラスの支出となります。2010年に一般社団法人CSRプロジェクトが実施した“がん患者の就労と家計に関する実態調査”では、がん罹患した場合、7割の方の年収が半分近くに減少。治療後に年収が元の水準に戻った方は約1割と非常に少ないそうです。また、脳血管疾患での平均入院日数は89.5日と長期に渡ります。(生命保険文化センターの平成28年度「生活保障に関する調査」より)更に、脳血管疾患は脳内の神経系に障害を残すことも多く、治療後も長期のリハビリを必要とします。がんや脳血管疾患で長期休業をした方の復職率はがんで47.5%、脳血管疾患で46.4%といずれも50%以下となります。(2012年度「労務安全情報センター調査結果」より)では長期に渡り“働けないリスク”にはどの様な保障があるのでしょうか。公的保障として「傷病手当金」という制度があります。支給対象者はサラリーマンと呼ばれる給与所得者で、支給条件は

- ①業務外の事由による病気やけがの療養のための休業。
- ②仕事に就くことができない。
- ③連続する3日間を含み4日以上仕事に就けない。
- ④休業した期間について給与の支払いがない。

と定められており、上記4つの条件をすべて満たすと傷病手当金が支給されます。支給される金額は、標準月額報酬の2/3と定められており最長で1年6か月の支給です。給与所得者の場合、長期休業してもすぐに収入が途絶えることはありません。ですが傷病手当金の支給額、支給期間は十分と言えるでしょうか。“働けないリスク”を補うには少し物足りないように思います。また、「傷病手当金」は給与所得者には支給されますが自営業者においては制度自体が存在しません。

健康的な毎日を過ごされている方が突如として“働けない状態”になる確率としては低い



反面、なってしまった時の家計への影響は非常に大きいものです。公的保障が受けられる方は収入の不足分と治療費を加味した資金準備が必要です。自営業の方はそれら全てをご自身で準備しなければなりません。“働けないリスク”が訪れた時どれ程の資金準備が必要か。一緒に計算し準備に向けたアドバイスも可能です。不安がある方は遠慮なく担当までご相談ください。

年金の受取額をアップさせる 3つのテクニック

ファイナンシャルプランナー
深川 恵理子



ご存知の通り、日本の平均寿命は伸び続けており、退職後の生活はどんどん長くなっています。老齢年金は生きている限り受け取り続けることができますので、できるだけ受取額を増やしておくのが安心ですね。

実は、知っているのと得する年金の受取額をアップさせる3つのテクニックをご紹介します。

1. 納付期間を伸ばす!

一番シンプルな方法は、60歳以後も保険料を納め続けること。国民年金(老齢基礎年金)は、原則、20歳から60歳まで40年間、保険料を支払うと満額(H29年度779,300円)受け取れることになっています。納めた期間が長ければ長い程、受け取る額は多くなります。あまり知られていませんが、納付期間が40年に満たない方は、60歳~65歳まで任意で老齢年金に加入することができます。また、以前は25年間でしたが、この8月から10年間納めれば、受給資格が得られるようになりました。納付期間が10年に満たない方は最長で70歳まで加入することもできるんですよ。

2. 過去に支払っていなかった保険料を払う!

追納・・・学生納付特例や若年者納付猶予など、支払いの免除を申請していた場合は、過去10年以内の免除期間について保険料を納めることができます。

後納・・・免除申請をしていなかったけれど時効で納めることのできなかつた期間があるという方は、過去5年間さかのぼって納めることができます。こちらは来年平成30年9月30日までの特例となりますのでご注意ください。いね。

保険料は控除の対象となり、所得税・住民税が軽減されます。家計に余裕が出てきたという方は是非ご検討下さい。



3. 受給開始年齢を遅らせる!「繰り下げ受給」

老齢年金は本来65歳から受取りできますが、最大で5年間(60ヶ月)、70歳まで受給を遅らせることができます。1ヶ月遅らせるごとに金額は0.7%増え、1年(12ヶ月)で8.4%、2年(24ヶ月)で16.8%、5年間(60ヶ月)遅らせると42%増えます。会社にお勤めだった方は、老齢基礎年金、厚生年金のどちらかだけを繰り下げるとすることも可能です。

4割も増えたらかなりお得ですね。公的年金は終身年金ですから、最長まで繰り下げて増額した場合、70歳で受取始めてから亡くなるまでずっと4割増額した年金をもらい続けることができるのです。

たとえば国民年金(老齢基礎年金)を1年間で78万円受け取るとします。

65歳から受給受取り始めると年額78万円でも、1年間だけ遅らせて、66歳から受け取ることにした場合、12か月×0.7%=8.4%の増額となり、約84万円の年額になります。

月額にすると6.5万円だったのが7万円になり、5,000円ではありますが、1年間受取を送らせただけで、この先ずっともらえる年金が月5,000円アップするならいいと思いませんか?

90歳まで生きるとすると、なんと150万円多く受け取ることができます。

なお、繰り下げ受給は、いつでもストップして、過去にさかのぼってもらえるはずだった年金を受け取ることも出来ます。例えば、12か月繰り下げてアップした年金を受け取るかわりに、6か月目で繰り下げををやめて、過去6か月分の年金をまとめて受け取る(このときの受給額は増額しない額)こともできるのです。年金を受け取る年齢は、リタイアして収入がない方がほとんどです。「受取額を増やしたくて繰り下げ受給をしたけれど、貯金が減ってしまって不安だ」という場合は、繰り下げのストップができるのは安心ですね。

私たちはいくつまで生きるかわかりません。老齢年金の支給は終身ですので、寿命によって受給額の総額は変わります。ですから、何歳から受け取るのが正解かは誰にもわかりませんが、生活費にゆとりがある方は検討なさる価値はあると思います。



知れば知るほど! ナルホド金融経済

GDPの伸びは本物か?

ファイナンシャルプランナー
松下 新



先月発表された本年4—6月期のGDPが前年比プラス1%、年換算で4%と大幅に増加、6四半期連続の増加に我が国の経済成長に期待が持たれています。この増加は本物なのでしょう。

事実確認をしますと確かにGDPの主要部分を占める個人消費は+3.7%(1—3月期は+1.5%)と若者を中心にレジャーやファッション、ゲームソフトなどが好調だった事に加え、6月に前年比18%増となったインバウンド(外国人観光客)による消費が後押しし大きく増えました。しかしそれ以外にも住宅投資が+6.0%(同+3.5%)、設備投資が+9.9%(同+3.6%)であったことから、日経平均株価も2万円を付けるなどこの成長は底堅そうだとの期待が出ています。

ただどうでしょう。わずか3ヶ月間の数字を4倍するだけで年換算となるわけで、今後もこの大きな伸びが続く保証はどこにもありません。7月は暑い夏の到来としてエアコンなどの消費が増えたものの、8月に入ると台風と

長雨によりビアガーデン、プール、行楽地は閑散、悪天候は農作物まで影響し物価上昇を引き起こしたため7—9月期の個人消費に大ブレーキがかかっています。



さらに北朝鮮のミサイル、アメリカのトランプ政権の依然不透明な経済政策や差別的発言などで地政学リスクはさらに強まる傾向にあり、日経平均株価の上昇を押さえ込んでいます。安心してお金を消費に回そうという心理が働き難くなっているのです。

7—9月期の一次速報値は11月まで待たなければなりません、プラスとなったとしても日経平均株価が上昇しない限り我々庶民は経済成長を実感することはできないでしょう。

「メラトニン」で健康リズム

クラーク
宮本 結衣



秋といえば過ごしやすく、様々なことに挑戦しやすい時期ですよ。『食欲の秋』『スポーツの秋』『読書の秋』などいろいろありますが、実は快適に眠れる『睡眠の秋』でもあるのです。

暑くて寝苦しく睡眠不足になりがちな夏に対し、気候が安定している秋は睡眠改善のチャンス!そこで欠かせないのが『メラトニン』という睡眠ホルモン。自然な睡眠へ

導いてくれる『メラトニン』は私たちの体内時計に働きかけ、体を活動状態から休息状態に切り替えてくれるそうです。夜になると脳の松果体から分泌され、朝に光を浴びると分泌は止まります。朝目覚めてから14~16時間経過すると体内時計から指令がでて再び分泌されるようになっているため、夜間に光を浴びていると、体内時計の動きが乱れ分泌されにくくなってしまいます。寝る前のスマホやパソコンを控えた方が良いと言われるのは良質な睡眠を促す『メラトニンの分泌』に関係していたのです。



『睡眠』は人間にとって必要不可欠なものにもかかわらず、どうしても疎かにされがちです。睡眠改善すると肥満、高血圧、糖尿病などの生活習慣病を予防・改善できたり健康面でも良いことづくし。心地よい眠りを手に入れる為に普段の睡眠習慣を見直してみてもいいでしょうか。

LINE@

始めました!

今すぐ登録!



LINEの「友だち追加」から、
「QRコード」または「ID検索」で登録

🔍 @njl9061e

友だち登録で
特典をGET!!

- 1 セミナー情報をいち早くお届け&優先招待
- 2 お友だち限定イベントのご案内
- 3 9月末までにご登録いただいた方の中から抽選で10名様にペア映画観賞券プレゼント



その他のSNSもチェック!!



🔍 **みらいのお金クリニック** で検索!!

差出人・連絡先

アルシアコンサルティング株式会社

〒251-0023 神奈川県藤沢市鶴沼花沢町2-3 PHビル2階
TEL: 0466-54-8417 <https://www.arxia.jp/>

掲載内容等に関するお問い合わせは各担当営業まで。
禁無断転載 Copyright Two Way Communications Inc.